

➤ A社

(群馬県、従業員数：1名、資本金：300万円)

新分野展開 (酒小売→洋菓子小売)

- **温泉観光地に店を構える酒屋**。緊急事態宣言の発令に伴い観光客が激減し、得意先のホテルや旅館が休館したため売上高が激減。
- 近年開拓され始めた20代30代女性のマーケットに着目し、日本酒女子向けの「映える」商品として、**日本酒に拘った洋菓子を製造**し、酒類に合わせて販売する。
- 補助事業で**店舗、イートインスペースの改築や、厨房機器の購入**を行い、日本酒をかけて食べるケーキ、日本酒/酒粕/酒米の米粉を原料に使ったケーキなどを「SAKE×CAKE」シリーズとして定期的に関発・販売していく計画。
その他焼き菓子のギフトセットやオーダーメイドケーキも含め、店舗販売に加えネットでも販売し、既存事業含め売上を伸ばしていく狙い。



➤ B社

(千葉県、従業員数：3名、資本金：600万円)

事業転換 (酒卸売→飲食料品小売)

- **飲食店向けの酒類卸売を主に、お酒とオーガニック商品の小売店を運営している事業者**。コロナの影響による飲食店の営業自粛を受け、卸売の売上が大きく減少。
- 卸売事業の維持が難しい状況に追い込まれる一方で、健康意識の高い女性や巣ごもり太りが気になる女性など、オーガニック商品への関心は高まっており、**酒類卸売事業から収益性の高い、健康に関心の高い女性をターゲットとした商品の小売事業中心に事業転換**する。
- また、補助事業で店内に**クラフトビールの醸造設備を設置**し、リキュール製造後の再活用フルーツや無農薬の大麦を原料とした自然派ビールを開発、販売。さらに、**併せて店舗をリニューアルし、マイビールづくり等のワークショップエリアを設ける**など、ファン獲得に向けた事業に取り組む。

